

# 進路たより



小論文ってむずかしい？ 作文とはちがうの？ 書いたことないから、わかんない！

## 小論文を攻略！

就職試験や四大・短大・看護専門学校などの入試では、作文や小論文を課すところがあります。自分の希望する進路先に対して、作文や小論文で自分をアピールできることが合格に向けてのポイントです。そのためには、早い時期から自分の経験や意見などを、文章で適格に表現できる力を養っておく必要があります。

### 作文と小論文ってどう違うの？

小論文は「理由のある意見」、作文は「感想」

小論文は問われているテーマに対して「私は、～と考える。」という意見を述べ、「なぜなら、～だからだ。」という理由（論拠）を筋道立てて説明し、相手を説得する文章のことです。論理性や説得力の高さにポイントが置かれます。

一方、作文は・・・「～だと思う。」「～して楽しかった。」など、ある出来事から自分の心境や感想を述べた文章のことです。文章の流れ、感性の豊かさ、表現のうまさなどにポイントが置かれます。

小論文に求められているのは、表現の美しさではなく、「考える力」であり、「読み手を説得する力」です。どんなにしゃれた表現や言い回しがあっても、文章全体が「意見」と「理由（論拠）」という構造になっていなければ小論文とは言えません。また、意見があっても「なぜそう言えるのか」という理由がなければ小論文とは言えません。

### どうすれば小論文をうまく書けるの？

#### ①書く力を高めよう

##### ●まずは、要約(サマリー)練習から

最近では、課題文を読んで自分の意見を書く形式が主流です。課題文の内容を理解できなければ、的外れな意見になってしまいます。まずは要約練習から始めましょう。新聞記事、コラム、社説、または雑誌記事を切り抜いて200字もしくは300字で要約します。

●次は、**自分の意見を文章にまとめる** 練習を

要約練習で使った記事等をもう一度読み、今度は自分の意見を 400 字もしくは 600 字で書いていきましょう。

●さらに、**過去問** にチャレンジ

要約と意見をまとめる練習を十分したら、過去問題を使って小論文を書いてみましょう。山商では、すべての先生に小論文指導をしてもらっています。要約や小論文を書いたら、進路指導部へ提出し、指導をしていただく先生の割り振りをしてもらって指導を受けてください。きびしい指導になるかもしれません。

● **小論文模試** を受験する

受験で小論文が必要な人は、HST（ハイスクールタイムズ）の小論文や実戦小論文模試（リライト添削付）などをぜひ受験してください。

② 今どんな問題が起こっているのか、何が問題なのか調べよう

**まずは授業を大切に**

一日の大半を占め、様々な知識や考え方に触れる一番の機会が授業です。まずは授業を大切に。

**新聞、ニュースをチェック**

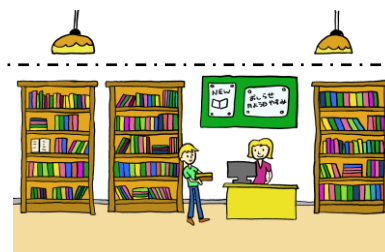
新聞記事は、よく課題文として出されます。新聞やテレビなどのニュース番組で時事問題をこまめにチェックしましょう。「天声人語」など新聞のコラム欄などをしっかり読み込むことも大切です。ネットのニュースも参考になりますが、中には真実ではない内容が含まれている場合が多々あります。いろんなメディアをうまく利用して多様なニュースや情報に触れることが重要です。

**本を読む**

何といっても、本は情報の王様です。図書館に小論文のコーナーが設置されていますから、志望する分野や興味のあるジャンルの本から読んでみましょう。

～ 図書館より～

作文・小論文対策の本や資料は常時置いています。「進路」の棚、新刊コーナー、新聞切り抜き、スクラップファイルコーナーを見てください。また、本などについての相談は図書部の先生や司書までお気軽にお尋ねください。



## 教員みんなで全力応援！

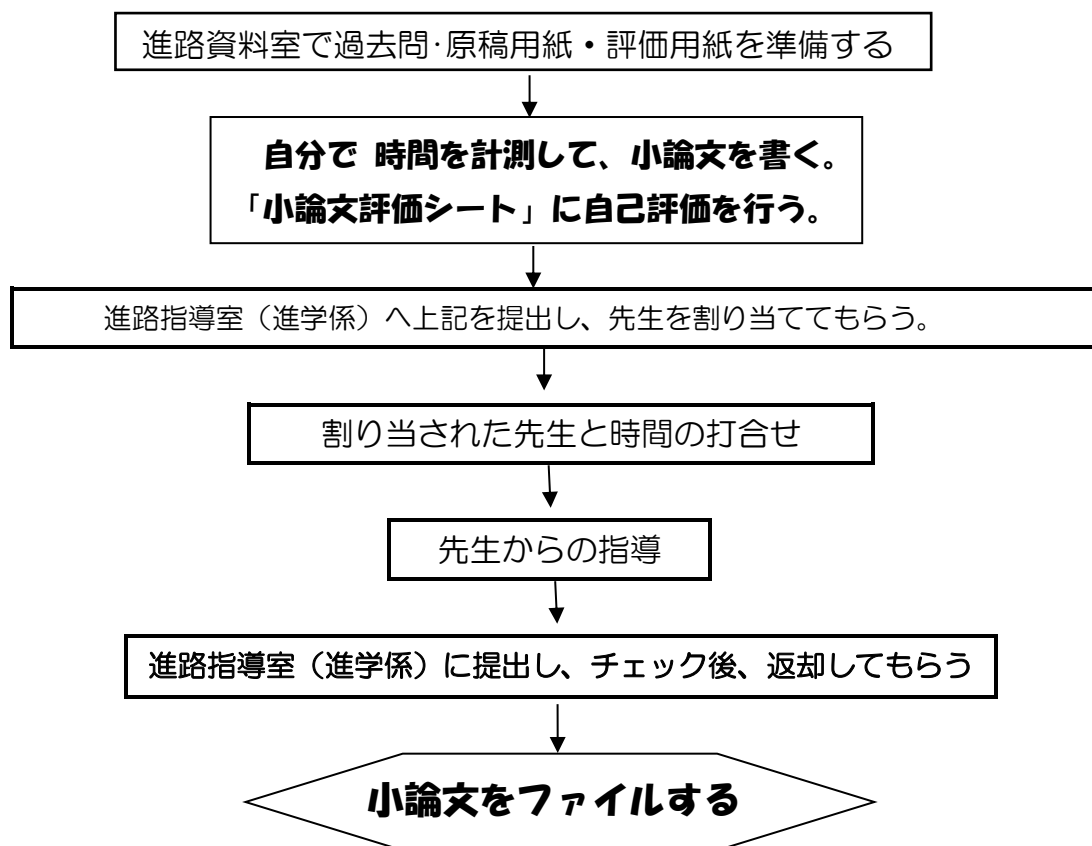
# 山商の小論文対策

表面に書いたように、「自分はこんな体験をした」「自分はこう思う」「自分はこう感じた」等々を書いているだけでは小論文とは言えません。自分の知識・体験をもとに、「なぜ自分はそう考えるのか」という理由や根拠を示して、読み手を納得させなければなりません。ただし、小論文に正解はなく、このように書かなければならないという模範解答もありません。それだけに、論理的な思考力を身に付け、自分の意見をまとめるための練習が必要です。

過去問などを活用して、最低でも10本程度は、実際に書いてみましょう。しかし、書いているだけではダメで、他の人に読んでもらい評価してもらったうえで、もう一度書いてみるという繰り返し練習が絶対に必要です。

すでに皆さんには、10月のHSTを受けてもらい、山商の先生からの添削を受けてもらいました。今後も、小論文を書く機会があります。いろんな先生方からアドバイスもらって、納得できる小論文が書けるように努力を重ねてください。

### 小論文添削指導の流れ



小論文 評価シート

( )組( )席 ( )

年 月 日

評価基準	4	3	2	1	自己評価	教員評価
分量 誤字脱字	指定文字数の <b>9割以上</b> の記述が <b>あり</b> 、 <b>誤字・脱字がない</b> 。	指定文字数の <b>9割以上</b> の記述が <b>あるが</b> 、 <b>誤字・脱字がみられる</b> 。	指定文字数の <b>9割以上</b> の記述は <b>ないが</b> 、 <b>誤字・脱字は少ない</b> 。	指定文字数の <b>9割以上</b> の記述が <b>なく</b> 、 <b>誤字・脱字も多い</b> 。		
課題の理解 (課題の捉え方)	課題で問われていることを <b>理解し</b> 、 <b>的確</b> に答えている。	課題で問われていることを <b>理解し</b> 、答えている。	課題で問われていることへの <b>理解が不足し</b> 、十分に答えていない。	課題で問われていることを <b>全く理解しておらず</b> 、答えられていない。		
知識	経験や知識(数字・事実・固有名詞・見聞等)を用いており、結論を <b>十分に裏付けている</b> 。	経験や知識(数字・事実・固有名詞・見聞等)を用いているが、結論を裏付けるには <b>不足している</b> 。	経験や知識(数字・事実・固有名詞・見聞等)を用いているが、結論の裏付けに <b>つながっていない</b> 。	経験や知識(数字・事実・固有名詞・見聞等)を用いて <b>いない</b> 。		
説得力	自分の意見として課題の解決策や提案が <b>具体的に</b> 述べられている。	自分の意見を述べているが、課題の解決策や提案について <b>具体性に欠ける</b> 。	自分の意見を述べようと努めているが、 <b>一般論や社会通念の域を出ていない</b> 。	自分の意見を <b>述べておらず</b> 、筆者の意見の復唱や要約で終わっている。		
文章の構成	序論(問題提起・意見提示)、本論(理由・根拠)、結論(まとめ・解決策)など <b>適切な</b> 段落構成がされており、各段落の趣旨が <b>十分に伝わる</b> 。	序論(問題提起・意見提示)、本論(理由・根拠)、結論(まとめ・解決策)など <b>適切な</b> 段落構成がされているが、各段落の長さや内容等について <b>改善の余地がある</b> 。	序論(問題提起・意見提示)、本論(理由・根拠)、結論(まとめ・解決策)など段落構成に <b>配慮している</b> が、 <b>話の展開や筋道に問題がある</b> 。	序論(問題提起・意見提示)、本論(理由・根拠)、結論(まとめ・解決策)など適切な段落構成が <b>されていない</b> 。		
語彙力・表現力	語彙力が <b>豊富で</b> 、 <b>的確な</b> 表現がされている。	語彙力・表現力ともに <b>標準的</b> である。	語彙力が <b>やや不足</b> しており、表現力が <b>弱い</b> 。	語彙力が <b>不足</b> しており、表現力も <b>乏しい</b> 。		
<b>総合評価</b>						

アドバイスメモ

小論文を書き上げたら、設問に対して自分の論点がずれていないか、第三者にわかりやすい表現で書いてあるか等を「小論文評価シート」で自己チェックしてから、添削してもらいましょう。その後、指摘された点に気をつけて、再度書き直してみましょう。この作業を繰り返せば、確実に小論文の実力がアップします。複数の先生や友達に見てもらい、感想を聞いたりしてもよいでしょう。専門分野に応じた先生の意見を聞くことも大切です。多くの人から感想や指導をもらってください。

**★ 当面の予定 ★**

- 2月25日(日) 日商簿記検定 実用英検2次
- 2月28日(水) + 3月4・5・6・7日 学年末考査
- 2月29日(木) 表彰式・卒業式予行
- 3月 1日(金) 卒業式
- 21日(木) クラスマッチ
- 25日(月) 修了式